

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月

事業所名: おり〜ぶ上野山

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応を必要とするとき等に不足に感じる場合もある。</li> <li>・活動内容によっては和室とプレイルームで分けて取り組んでいる。</li> <li>・工作をする時やおやつを食べる時、体を動かして遊ぶ時には和室の扉を閉めている。クールダウンを要する時には廊下や事務室等を使っている。</li> <li>・児童館と併設されているので、児童館スペースをお借りして子どもたちのニーズに合った支援や遊びを提供出来るよう、児童館の先生方に相談等を常に行っている。・広くて過ごしやすと思う。</li> <li>・活動拠点が施設内で複数に渡る際に、各拠点で連絡できるように公用携帯を所持している</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準配置より加配をしている。が、活動内容や個別対応等によって不足に感じる場合もある。職員間で工夫をしながら、安全に楽しめる活動ができるよう話し合っている。</li> <li>・普段はある程度適切に配置できているが、急なお休みが入ることで利用人数に対して対応が難しい場面が見られる。(基準人員等は当然守られてはいるが、曜日によってあまり関われない利用児がいる)</li> </ul>
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館内にあり、スロープや手すり、点字ブロック、多目的トイレ、介助用ベットが設置されている。</li> </ul>
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い支援を目標に常に検証と改善をしている。</li> <li>・日々の支援について話し合いをもう少ししたい。</li> <li>・改善すべき点等についての提案がしきれていないことや、取り組みを全員に周知しきれていない部分もある。</li> </ul>
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年実施している。</li> <li>・直近では令和6年2月に保護者評価を実施している。</li> </ul>
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年3月に法人ホームページへ掲載している。</li> </ul>
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は実施していない。</li> <li>・保護者評価やアンケートを実施し、業務改善に努めている。</li> </ul>
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に研修を実施している</li> <li>・支援技術だけでなく、支援者としての姿勢に関わる研修や虐待防止に関する研修も行っている定期的にテーマを上げて行われています。</li> </ul>
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画を作成する際に職員間で話し合い、個人に合わせたサービス計画を作成している。</li> <li>・アセスメントを実施し、保護者の同意を得て計画を作成している。</li> </ul>
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後ケアネットワーク仙台で作成した共通の書式を使用している。</li> <li>・今後適切なツールを用い、取り組む予定である。</li> </ul>
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員が不在でも他職員が対応できるようにしているが、パートスタッフへの説明が不足している点が多く見受けられる。</li> <li>・本人支援の5領域を捉えたプログラムを計画し実施している。</li> <li>・毎月、行事や設定活動の立案を職員で相談し取り組んでいる。</li> </ul>
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約日数により利用の頻度は様々だが、曜日登録の為週ごとにプログラムを立案しており、内容も固定化しないよう配慮している。</li> <li>・年間に同じ活動をしないよう心掛けており、取りまとめたものを確認する立場のスタッフがダブルチェックを行うことで活動が固定化しないようにしている。</li> <li>・より子供たちにとって楽しい活動を提供できるように努めたい。</li> </ul>
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日に応じた細やかな設定までに至らないこともあるが、可能な限り個々に合わせた計画をたて支援をしている</li> </ul>
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別、集団に乗っ取ったサービス計画を作成している。</li> </ul>
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議ができない時もある。</li> <li>・職員間でミーティングを行い、その日の活動プログラムや前日の利用児の様子を確認している。しかし、前日あったことや当日の利用児同士のマッチングなど、伝え漏れてしまう事があった。</li> <li>・共有するようにしている。</li> <li>・打合せに参加できない職員はミーティングノートを活用し確認を行っている。</li> </ul>
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で退勤時間が違い、支援終了後の打ち合わせは難しい。支援で起こったこと等は都度、メモを取り、保護者の方へ伝えることに漏れがないように、また書いてあるものを次の日のミーティングで共有できるようにしている。</li> <li>・打ち合わせはシフトを組んでいることもあり、必ず実施には至っていない。申し送り事項や特記事項は「申し送りノート」に記入し、退勤時に確認している</li> </ul>	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確に行われている。</li> <li>・話し合いをおこない、適宜支援を見直したり等しているが実行に移せていない時がある。次年度は日々の支援の見直し、改善につなげられるように努めたい。</li> </ul>	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	3	1	・6ヶ月に一度、モニタリングを実施。計画の見直しを行っている。6か月以内でも必要に応じ見直しを行っている。 ・利用児の特性傾向やパターン、例外などを見つけ、お互いに快適な場所になるように努力するようにしている
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	6		・個別記録や支援計画等を読み込み、さらに理解を図っていきたい。 ・自立支援・創作活動・地域交流・余暇活動等の支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3		・児童発達支援管理責任者または、児童発達支援責任者の資格を持つ職員が出席をしている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1		・変更があるときなどはその場に応じて適切に対応、連絡調整を行っている。 ・連絡ツールとしてEメール、電話、連絡ノートを使用し共有を図っている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6	2	・環境的に医療的ケアを必要とする児童の受け入れは行っていない。発作や持病等のある児童については、かかりつけ医や緊急時の対応など保護者と情報共有をしている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	6		・保護者から聞き取りを実施。必要があれば保護者の了解を得て、保育所等に情報提供を求めている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	5		・小学生対象のため、福祉サービス事業所への移行はない。進級し利用先となる事業所へは必要に応じ情報提供を行っている。 ・成人施設への送り出しは行ったことがない為、わからない点が多い。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	5		担当者会議等で助言等を受けることはある。外部研修の機会等にも参加するようにしている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10			・児童館併設の為、年間に複数回合同行事がある。また、普段から交流をすることがある。 ・児童クラブ利用児童との交流がある。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	5	2	・参加できていない。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1		・日々の送迎時、モニタリング時に活動内容やご様子を伝えている。また、ご家庭での様子の聞き取りも行い、共通理解を持って支援をしている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	6	1	ペアレント・トレーニングには至っていない。 面談時や送迎時等に相談に応じることや、適宜助言等を行っている。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	2		・新規契約時、更新面談時に説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			・その都度聞き取り、助言を行っている。助言までに至らない場合もあるが、傾聴しその後も様子を確認しながら一緒に解決を目指している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	1		・茶話会(保護者会)を開催している。 ・法人内事業所と共同で開催している。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	1	・苦情解決制度を設置し、周知している。 ・迅速かつ適切に行っている
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	2		・インターネット、紙媒体にて情報発信している。ホームページに活動写真をのせている。行事や設定活おり〜ぶ4事業所の活動内容を掲載した「おり〜ぶ通信」も年2回発行している。
	35 個人情報に十分注意しているか	10			施錠できる場所に保管している。研修等も行っており、職員一人ひとりが意識をして行動している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1		・親切丁寧におこなっている。 ・それぞれにとって分かりやすい伝え方を考慮している。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	3	1	・地域行事にも参画している。 ・児童館を利用しているお子さんとの交流行事を立案し実施している。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2		・各マニュアルは作成し、職員に周知するとともに事業所にファイリングしている。保護者に周知しきれていない部分もある。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			・定期的な避難訓練を行っている(児童館主体ではあるが) ・適切に行っている。 ・児童館と合同で定期的に避難訓練や救命講習を実施している。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			定期的にチェックリストで振り返りを行い、話し合いの機会を設けている。法人内の研修にも全職員が参加をしている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			面談時に保護者に説明を行い、了承を得て個別支援計画に記載し、署名・捺印をいただいている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	6		現在、医師の診断による食物アレルギーのある児童の利用はない。これまでに診断されたことがある等、保護者から食材や様子等の聞き取りは行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3	1	・適切におこなっている。 ・ヒヤリハットの事例集は作成できていない。